

CHIGASAKI 市立病院だより

第54号

平成13年11月発行
発行/茅ヶ崎市立病院
茅ヶ崎市本村 5-15-1 TEL52-1111

放射線部門の高度医療機器共同利用について



放射線科技師長 早瀬武雄

今、国では「規制改革」を推進しています。

供給主体間の競争や技術革新を通じて、生活者・消費者が安価で質の高い多様な財・サービスを受けられることを可能とするものと言われてしています。すなわち、自由な環境の下でビジネスチャンス拡大し、社会全体としての生産要素の最適配分を実現することによって、経済を活性化させるということです。

医療に関する具体的項目は、

- IT化の推進（レセプト、カルテの電子化等）。
- 広告及び情報提供に係わる規制の抜本的見直し。
- 保険者機能の強化（社会保険診療報酬支払基金への一次審査事務等の委託義務の見直し等）。
- 経営形態の合理化。

で、これらが最優先課題として積極的に推進させることになっています。

中でも、今一番充実を図ろうとしているのが病診連携システムです。

これと関連して、医療供給体制の効率を考える上で、高度医療機器はその導入費用及び維持費用が高額であるために、地域医療の中核的な施設に配置し共同利用を推進すること等、効率的な利用を推進することで、住民に対する便益を向上させる「高度医療機器の共同利用」を充実させる計画をしています。

茅ヶ崎市立病院でも「規制改革」への対応、そして新年度での診療報酬改正の対応等を含めていろいろな改革を実践しなければならない課題があります。

この様な中で平成 12 年 10 月の新病院一期開設が行われ、高度医療機器が導入され、稼動しております。平成 15 年度の完全オープンにおいては更なる高度医療機器の導入が計画され、地域医療の中核的役割を担う病院としての体制が整うこととなります。

そこで、現在導入されている装置と今後導入予定の装置を含めて高度医療機器の簡単な説明をいたします。

CTとは

CTはコンピュータ断層法 (Computed Tomography) の略で、文字通りX線を使いコンピュータ処理を行い身体の輪切り（断面＝断層面）を見る装置で全身のあらゆる部位の検査が可能です。

MRIとは

MRIとは磁気共鳴診断装置 (Magnetic Resonance Imaging) の略で、大きな磁石の中に身体を寝かせ、特定の周波数を持った電磁波を照射し身体を構成している多数の元素のうち特定の元素（主に水素）が共鳴して信号を発生します。この信号を集めて人体の断面を画像としたものがMRIで、CTと同様に全身のあらゆる部位の検査が可能です。

MRIの利点は、CTと違いX線被曝がないことです。

リニアックとは

放射線治療装置のことで、主にがんの治療に使います。

リニアックは加速管内に形成されるマイクロ波電界により電子ビームを加速する装置のことで、被検者が治療台の上に寝て、患部に放射線を当て治療します。

ESWLとは

ESWL (Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy) とは体外衝撃波結石破碎のことで、主に尿路結石（腎盂、尿管、膀胱）、胆石等を身体に傷をつけずに身体の外から砂状に細かく砕き自然に排石させてしまうという方法です。

血管造影撮影装置とは

血管撮影装置とは文字通り血管を撮影する装置のことで、通常のレントゲンでは映らない血管を撮影するための特殊な検査装置です。カテーテルと呼ばれる細い管を直接血管内に挿入し、そこから造影剤を入れて目的の血管を撮影します。心臓は動きが速く最も大切な臓器ですから、心臓専用の撮影装置もあります。

ガンマカメラとは

ガンマカメラとはガンマ線を収集し画像をつくる装置のことで、この装置を使った検査をRI（または核医学）検査と言います。RIとはRadioisotope（放射性同意元素）を略したものです。RI検査はRIを体内に注入し、臓器の形態や機能を調べる検査のことで、放射性物質を体内に入れることで恐ろしい感じがしますが、放射線の量としては、胸部や胃のX線検査と同程度で副作用も全くありません。

乳房X線撮影装置とは

乳房を撮影するための装置のことで、乳房は比較的柔らかい組織でできているために、特殊なX線撮影装置やフィルムを使って撮影します。10分の1ミリというとても小さな病変も見つけることができますので、病巣の早期発見・早期治療のために欠かせない検査装置です。

注) リニアックとESWLはH15年度導入にむけ計画中です。

